

学校経営方針

壬生町立稲葉小学校

学校教育目標

- たくましい子 ・たくましく生きぬくための心身の育成
- かんがえる子 ・将来を生きていくための知識と知恵の体得 ・自主的に学ぶ意欲の育成
- たすけあう子 ・思いやりと感謝の心の育成 ・感動する心の伸長

学校経営方針

<目指す児童像>

- 何事にも自ら全力で粘り強く取り組む子
- 学習の基礎・基本が定着し、自ら考える子
- 互いのよさを認め、協力する子

<目指す教師像>

- 児童一人一人の心に寄り添う教師
- 授業力の向上に努める教師
- 自分を律し社会の模範となる教師

本年度の努力点

<努力点1>

- 何事にも自ら全力で粘り強く取り組む子を育む

・授業や学校行事、委員会活動を通して行動力を身に付けるなど、自主的に活動する意欲の育成を図る。
・実践力の育成につながる安全教育や保健教育、食育、薬物乱用防止教育、情報安全教育などを推進する。(ノ・レ・ビ・ノ・ゲ・ム・ノ・ネ・ト週間の効果的な実施)

<努力点2>

- 学習の基礎・基本が定着し、自ら考える子を育む
- 授業力の向上に努める教師

・特性に応じた合理的配慮や個に応じた支援で、基礎・基本の定着に努める。また、スクリーニング検査を活かして、個に応じた補充学習の充実を図る。
・家庭学習(宿題、自主学習・家読、GIGA活用)を学力向上につなげる。
・読書活動を推進する。(読書習慣の定着化、効果的な記録・感想の実践)
・ねらいの明示、導入の工夫、振り返りを行い、知識・技能や思考・表現能力を伸ばす発展課題の日常化も工夫する。学習評価の充実を目指す。
・考え・表現する、話し合い・発表するなど主体的・対話的で深い学びを目指す。
・コミュニケーション力を高める授業づくりを追究し、「チーム稲葉0JL」や1人1研究授業の実践を通して学校課題研究を推進する。
・ねらいや活動、個の特性に応じて、ICTやGIGA端末を効果的に活用し、主体的な学び、個別最適な学び、調べ学習や協働学習、合理的配慮を推進する。
・「授業実践チェックシート」を活用し、授業改善や授業力の向上を図る。カリキュラム・マネジメントを組織化して、教育活動の改善を図る。

※「チーム稲葉0JL」

授業時間内に生じた研修の時間を活かし、授業(実践・観察・協働)を通して行う学び・学び合い

<努力点3>

- 互いのよさを認め、協力する子を育む
- 児童一人一人の心に寄り添う教師

・道徳科を要とする全教育活動を通して、道徳教育を推進する。
・互いのよさや違いを認め合い、支え合う仲間づくりを目指す学級経営を行う。
・目的を明確にし、児童が主体的に考え判断して行動する特別活動を展開する。また、効果的に異学年集団活動を実践する。
・地域の人材や教育資源を、意図的・計画的に活用する。
・授業や日常的なかかわり、教育相談を通して、児童と共感的な人間関係を築き、心理アセスメント・アンケートも併せることで児童理解に努める。
・問題行動や児童に関する情報の共有機会を密に設け、機動的・組織的なチーム稲葉の児童指導・特別支援教育を実践する。

<努力点4>

- 自分を律し社会の模範となる教師

・教師自ら人権感覚・人権意識を高め、適切な指導を徹底し差別やハラスメント、いじめを許さない学校風土を醸成する。
・教師自ら規範意識をもち、マナーやモラルを尊び児童や社会の模範となる言動に努める。

○地域に信頼され、地域とともにある学校

- ・ 論語教育の推進
- ・ 学校の情報の提供、学校評価の適切な実施
- ・ コミュニティ・スクールや連携会議による地域と一体化した特色ある学校づくり
- ・ 保護者や学校支援ボランティア、地域との連携と「稲葉ふるさと学習」の充実